

今月の行事予定



社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2025年12月1日

保育目標 精進 つとめます

- ・成道会のお話を聴き、みんなでお祝いをする。
- ・冬の遊び、伝承遊びに挑戦してみる。

4日 避難訓練 8日 成道会・保護者会役員会
発育測定(12日 あひる・ひよこ 15日 そう・きりん
16日 うさぎ・りす) 22日 礼拝
20日 わくきら♪パレード(そう・きりん) 延長保育なし
22日 クッキー作り 23日 誕生会
29日～1/3日 お正月休み 1/5日 特別保育

*特別保育の申込みは12/1～4



「保育園から小学校への架け橋」

年長の子ども達が小学校へ行っても、保育園での育ちがこれからの学びに繋がるよう、また子ども達も安心して小学校生活が送れることを願って、様々な取り組みをしています。

夏休みには、小学校の先生に保育園でプチ授業をしていただき、その後小学校の教室で、お話を聞く経験をしました。わくきら☆スポッチャでは、小学一年生と玉入れ対決ができました。そして、11月には、佐山小学校一年生から『おもちゃランド』への招待を受けて交流活動をさせていただきました。一年生が準備してくれた5種類の手作りおもちゃの遊び方を聞いて、それぞれの遊びの場所へ移動し、それができたらスタンプを押していただきました。その最中に、小学生はマラソンの練習で、急いで着替えて外に出て行く姿を見たり、一年生から六年生そして先生も、広い運動場で走り続ける力強い姿も目の当たりにすることができました。

自分の「やりたい」気持ちをしっかり持っているほし組ですが、一年生や小学校の先生の指示をしっかり聞き、指示された場所に静かに移動したり、わからないことは聞いたり、マラソンの練習時は、大きな声で最後まで応援することができました。また、最後の終わりの会では、手を上げて楽しかったことや感謝の気持ちを、大きな声で発表することもできました。

このように、佐山小学校との交流や、嘉川小学校・東岐波小学校を訪問する機会もいただきました。今年卒園した一年生達がしっかり自立していて、長い台詞を暗記して司会をしていたり、保育園児をもてなしてくれる心遣いなど、一人ひとりそれぞれが、大きく立派に成長されたことを感じます。そして、異年齢保育のお陰で、子ども達はどちらも名前呼び合い、親しみを持ってスムーズに交流ができていることを何よりありがたく感じます。



【法話】

じょうどうえ
成道会

「成道会」とは、お釈迦さまが、お覺りをひらかれた日をお祝いする行事です。

インドで一国の王子として生まれられたお釈迦さまは、29歳の時、地位も名誉も財産も家族も捨てて、真実の覺りをもとめて出家修行にはいられました。6年の間、多くの師のもと、苦行をされましたが、身も心もおとろえるばかりでした。これではとても覺りはできないと山を下り、尼連禪河で身を清められました。そして村娘スジャータの差し出した乳がゆで体力を回復され、ピッパラ樹(覺られたので菩提樹)の下で静かに瞑想にはいられたのです。そして12月8日、あかつきの明星がひときわ強くまたたくとき、完全な真理の法を覺られたのです。

その覺りとは、縁起の法のことで、<わたし>は多くのいのちによって生かされ、また逆に多くのいのちを生かしていく存在であること、その尊い<いのち>を生きていく道を、仏教・仏道として、お釈迦さまは、<わたし>に、教えて下さいました。 合掌

